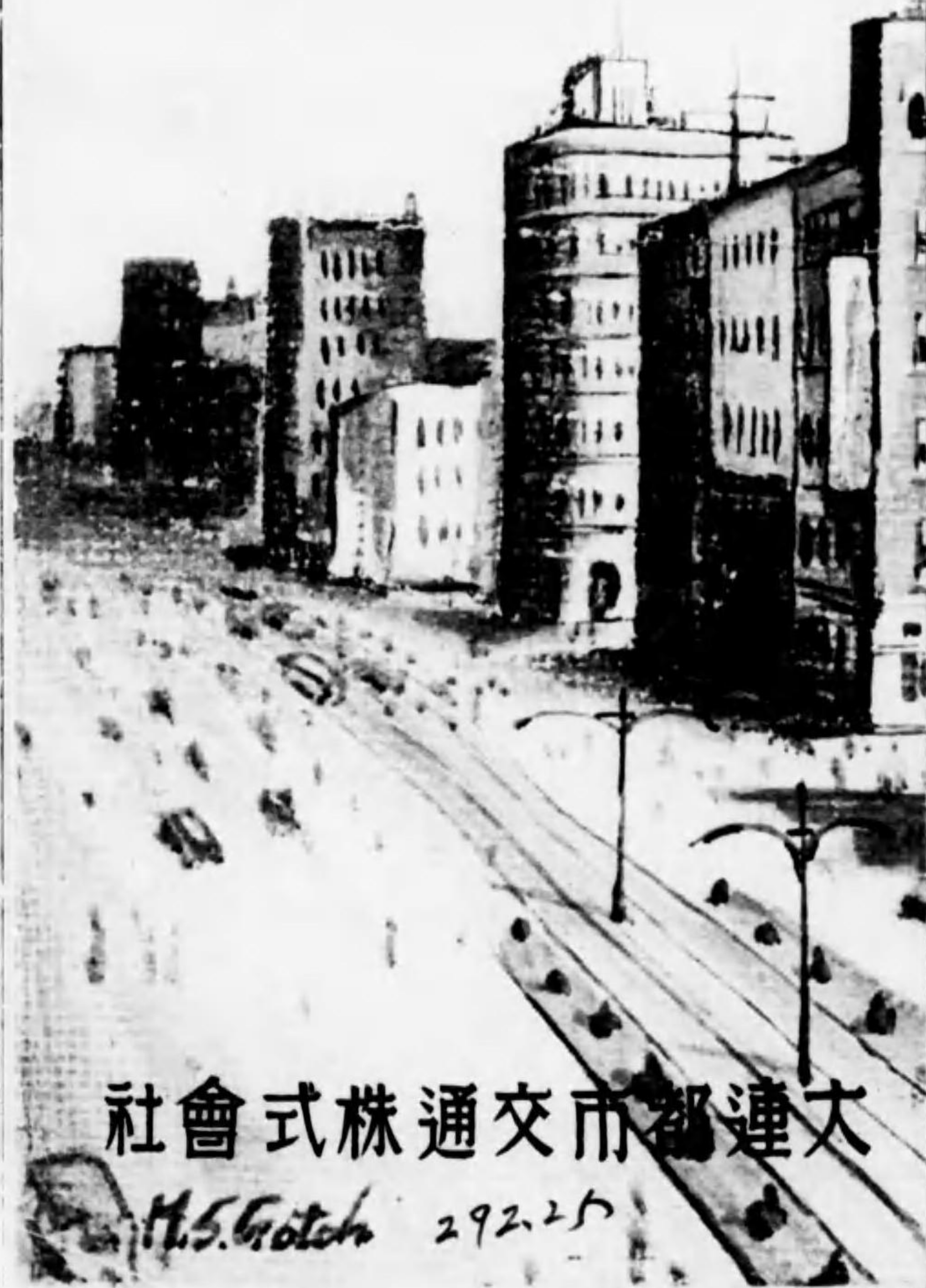


大連觀光

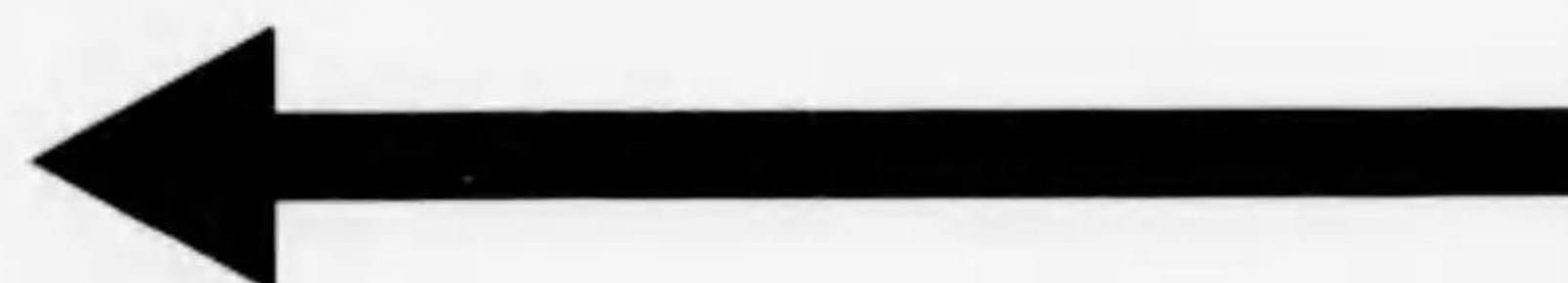
特 276
567



大連市交通株式會社

H.S. Gitch 292.25

始





(昭和十三年十二月二十日)
旅順要守司令部許可

バス發着場

特276
567

大連觀光

一年前の大連は最早今年の大連ではありません。
三十年の間に急速に發展した大連はロシア時代の建設者の名残りとして日本の都市計畫と滿支人の雜然とした居住狀況に依り混然としてゐる。未完成近代都市であります。日本人人口十六萬、滿支及諸外國人人口三十四萬五千合計五十萬五千を擁した港大連は大滿洲國の表玄関として又、新生の中北支との連絡地點として更に多彩な進展を約束されてゐます。



(昭和十三年十二月二十日)
旅順要守司令部許可

忠靈塔

【大連觀光バスの案内】

- 一、案内人——女子案内人
- 一、運賃——一圓八十錢（小兒九十錢）
- ★貸切——一輛 三十圓（案内人附）
- ★團體——十人以上を團體取扱とし
一人 一圓六十錢（小兒八十錢）
- ★時間貸切——（案内人なし）

車種	時間									
	一時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
一七人乗	五・〇〇	九・五〇	一三・五〇	一七・〇〇	二〇・〇〇	二二・五〇	二四・五〇	二六・〇〇	二七・〇〇	二七・五〇
二一人乗	六・〇〇	一〇・四〇	一四・二〇	一八・〇〇	二一・〇〇	二三・〇〇	二四・三〇	二五・三〇	二六・三〇	二七・〇〇
二五人乗	七・〇〇	一三・三〇	一八・九〇	二三・八〇	二八・〇〇	三一・五〇	三四・三〇	三六・四〇	三七・八〇	三八・五〇



昭和十三年二月二十日
旅順要塞司令部許可済

大連大神社

軍人學生に對しては二割引
午後十時より午前六時迄の間に發車する貨切は普通料金の二割増
待時間及目的地途上に於ける待時間は一時間毎に市内型四圓郊外型五
圓を申受けます但し廿分間を經過したる時は一時間と見做します

一、走行 料——三十九籽(約十里)

一、所要時間——五時間半

一、發車時刻——午前九時半

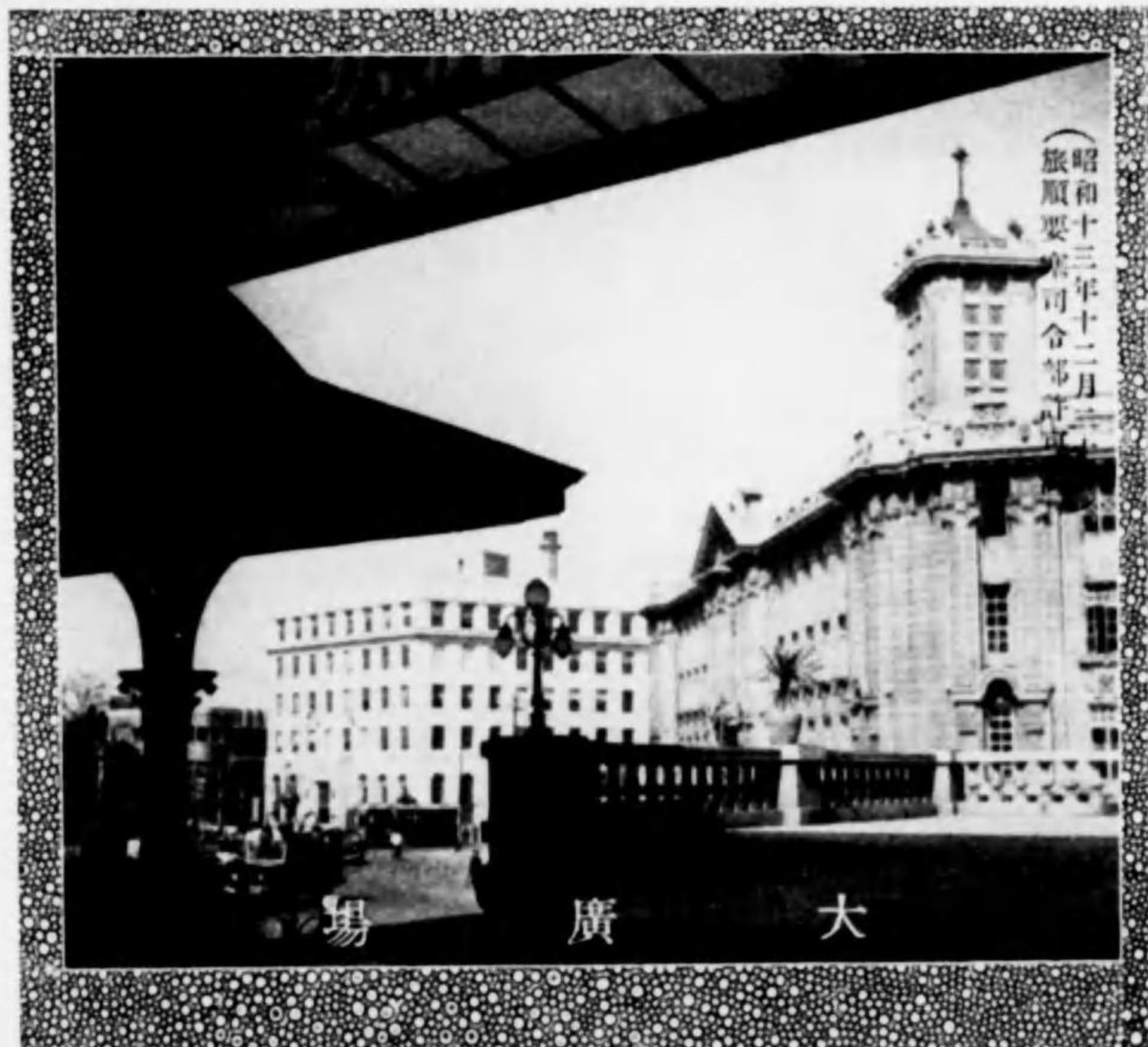
一、發車場——大連市常盤橋バス待合所

一、觀光箇所——山の茶屋——忠靈塔——大連神社——大廣場——滿洲資源
館——大連驛——大佛——星ヶ浦遊園——露天市場——油房

——碧山莊——埠頭

一、使用車輛——二十五人乘觀光車

一、應需車輛數——案内人附——十輛
案内人無し——二十五輛



昭和十三年十二月
旅順要塞司令部許可済

大連廣場

一、申込所

大連都市交通株式會社自動車係 (電二—三〇九〇)
ジャパン・ツーリスト・ビューロー (電二—二八五三
二—五五五四
二—四七二三)
大連觀光協會驛前案内所 (電三—一二四八)

其他——市内各旅館でも取扱ひます。

觀光箇所説明

山の茶屋

約五十萬坪を持つ中央公園の緑山山腹を縫ふ遊覽道路の略中間にあ
り、大連の全市を鳥瞰する事が出来ます。

忠靈塔

大正十五年四月二十四日竣工したもので、日露戦役に護國の鬼とな
られた勇士の遺骨六千二十九體を御祀りしてあります。旅順攻圍戦に
參加した勇士の遺骨は白玉山頂の納骨祠に御祀りしたので此所の忠靈
塔は蓋平以南の地で戦死した皇軍の將士の遺骨を御祀りしたものです

昭和十三年十二月二十日
旅順要塞司令部許可



滿洲資源館

大連神社

大連市民の産土神として天照大神、明治天皇を奉安して居ります。

大廣場

政治的にも經濟的にも大連の中心となつてゐる大廣場は、中央に「里程標」があり滿洲に於ける距離の歸着點となつて居り、初代關東都督大島大將の銅像が立つてゐます。

又廣場を圍んで大連市役所及民政署、ヤマトホテル、英國領事館、大連警察署、朝鮮銀行、逓信局、横濱正金銀行、中國銀行、東洋拓殖會社等のビルデングが堂々と立並び、少し離れて赤旗翻るソビエト・ロシア領事館、星條旗はためく米國領事館があります。

滿洲資源館

滿洲資源のアウト・ラインを握む爲に是非見學の必要があります。全滿の資源研究の資料が一堂に蒐つてゐます。

大佛

日露戦役の戦死者の遺骨が山野に拾ひ残されてゐたのを蒐め粉末としコンクリートを混じて作製した大佛であります。一般には骨佛と稱してゐます。

星ヶ浦

總面積三十三萬坪を擁する大公園で滿洲のオアシスと謂はれてゐます。春は櫻の名所、夏は海水浴場として知られてゐます。

昭和十三年十二月二十日
旅順要塞司令部許可



大佛

(昭和十三年十二月一日)
旅順要塞司令部誌



星ヶ浦

露天市場

日本人と滿支人の生活程度の差から生じた奇現象で、一名小盜兒市ショウトキ場と言はれてゐます。泥棒市場と言ふ意味です、大正七年に出來たもので只今は滿支人の日常生活必需品のマーケットであるばかりでなく、彼等にとつては又とない民衆的な娛樂場となつてゐます。

油房

油房とは滿洲特産の大豆から豆油を採る工場です。大豆の生産額は四千萬石世界の約六十三%を示して居ります。

碧山莊

苦力の收容所で、滿鐵傍系の福昌華工株式會社が經營してゐます。見事な國際労働管理をして、優に一萬七千人を收容する能力を有してゐます。

埠頭

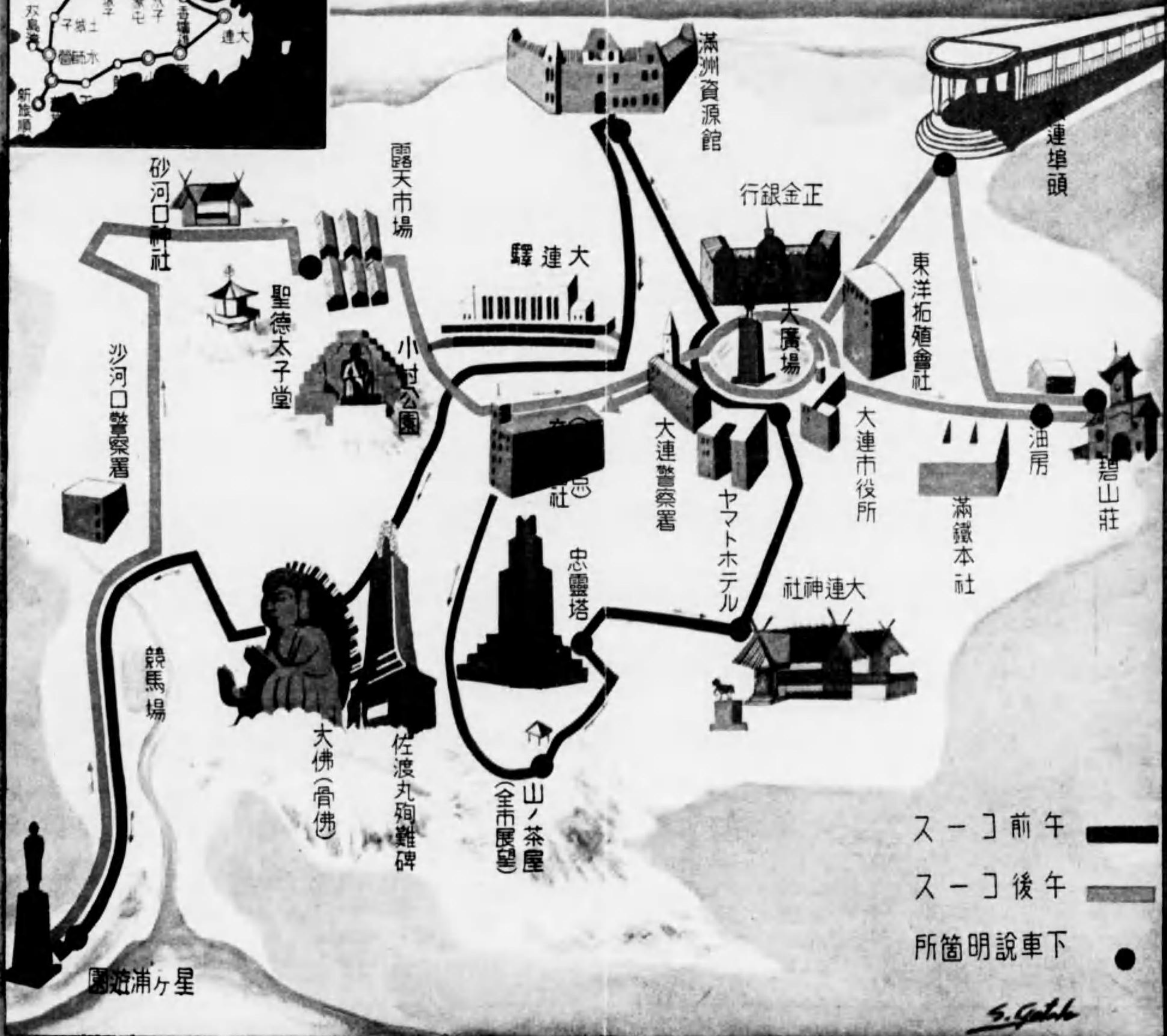
港大連の價值は、この埠頭を一覽する事に依つて領く事が出來ます又滿洲經濟の消長は即ち埠頭の統計表であると云はれ、今後益々日滿支を繼ぐ要點となる事せう。



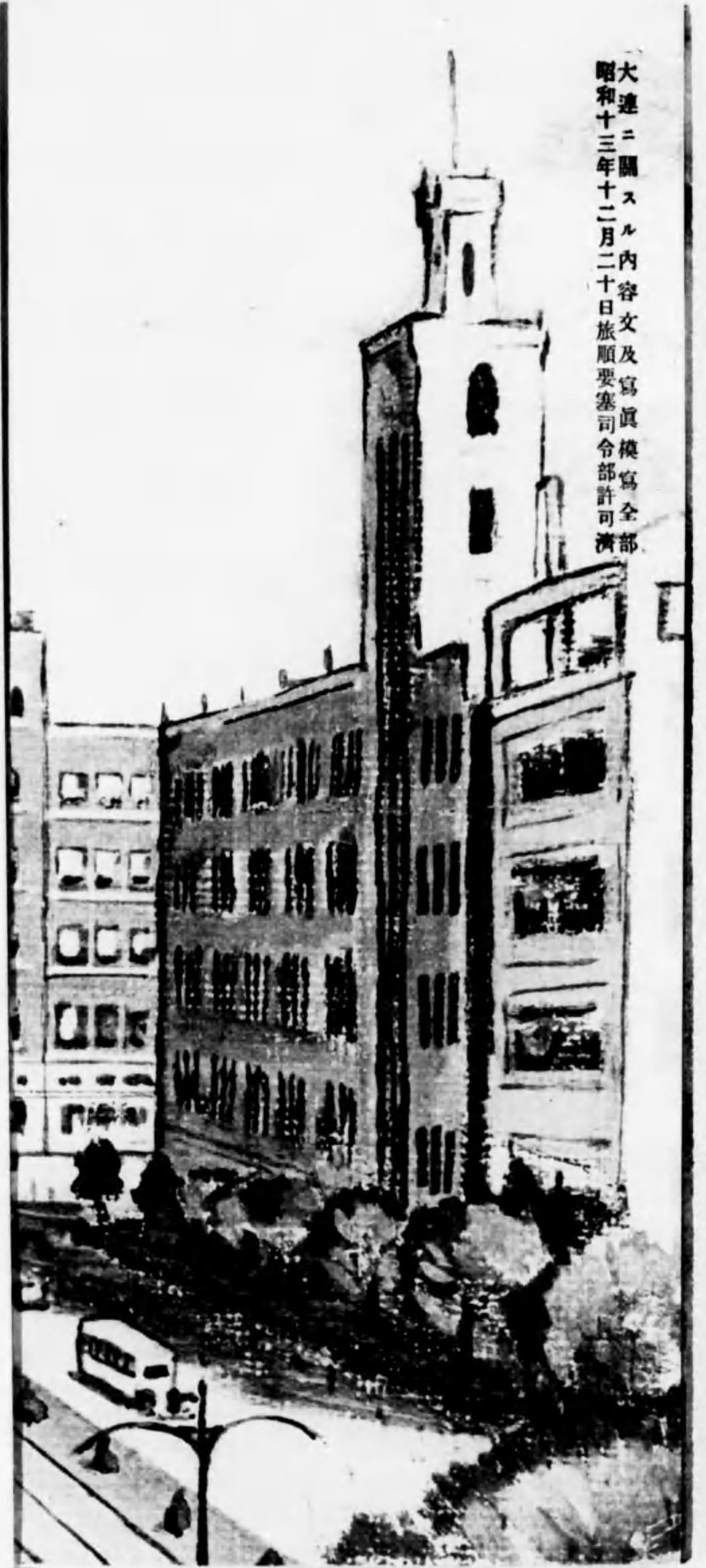
埠頭

(昭和十三年十二月二十日)
旅順要塞司令部誌

スーコ光観



大連ニ關スル内容文及寫眞模寫全部
昭和十三年十二月二十日旅順要塞司令部許可濟



終